

山梨で“貼る心電計”100人体制で検証開始、甲府信金でキックオフ | 県内2社が協力し働く世代の“心臓リスク”に向き合う

山梨県内の「検査を実施した企業」と「これから始める企業」が同席し、体験の“実感”と“期待”を共有。新聞やテレビ取材も入り、地域の健康課題に挑む官民連携の取り組みが注目されました。

株式会社ココロミル（本社：東京都新宿区、代表取締役：林 大貴）は、採択済みの山梨県「第9期TRY! YAMANASHI!実証実験サポート事業」にて、ココロミルが開発した小型心電図の在宅計測を軸とした健康リスクの早期発見と生活改善の導線を検証しています。

本検証では、1人あたり約800万円の医療・介護費抑制効果の可能性（当社試算）も評価対象としています。

2026年1月15日には、甲府信用金庫（甲府市）にてキックオフ説明会を開催。

「既に50名が心電図検査を実施した」株式会社アシストエンジニアリングと、「これから始める」甲府信用金庫が同席し、実施における受検の実感や理解ポイントの報告、これから受ける際の社内展開方法や健康経営KPIとの接続などを共有し意見交換が行われました。

会場には複数メディアの取材が入り、後日地域ニュースとして報道され、働く世代の健康と医療連携に関する社会的関心の高まりが確認されました。



キックオフ当日のトピック（1/15 甲府信用金庫にて）

県内2社・合計100人で実証実験

昨年12月アシストエンジニアリング50人へ**実施済**／今月 甲府信金様50人**実施**へ

「**実施済み**」×「これから」の両社が同席し、

アシストエンジニアリング…装着性、業務との両立、結果理解のポイントなど“**実感**”を共有

甲府信用金庫…社内展開の方法、健康経営KPIとの接続など“**期待**”を共有

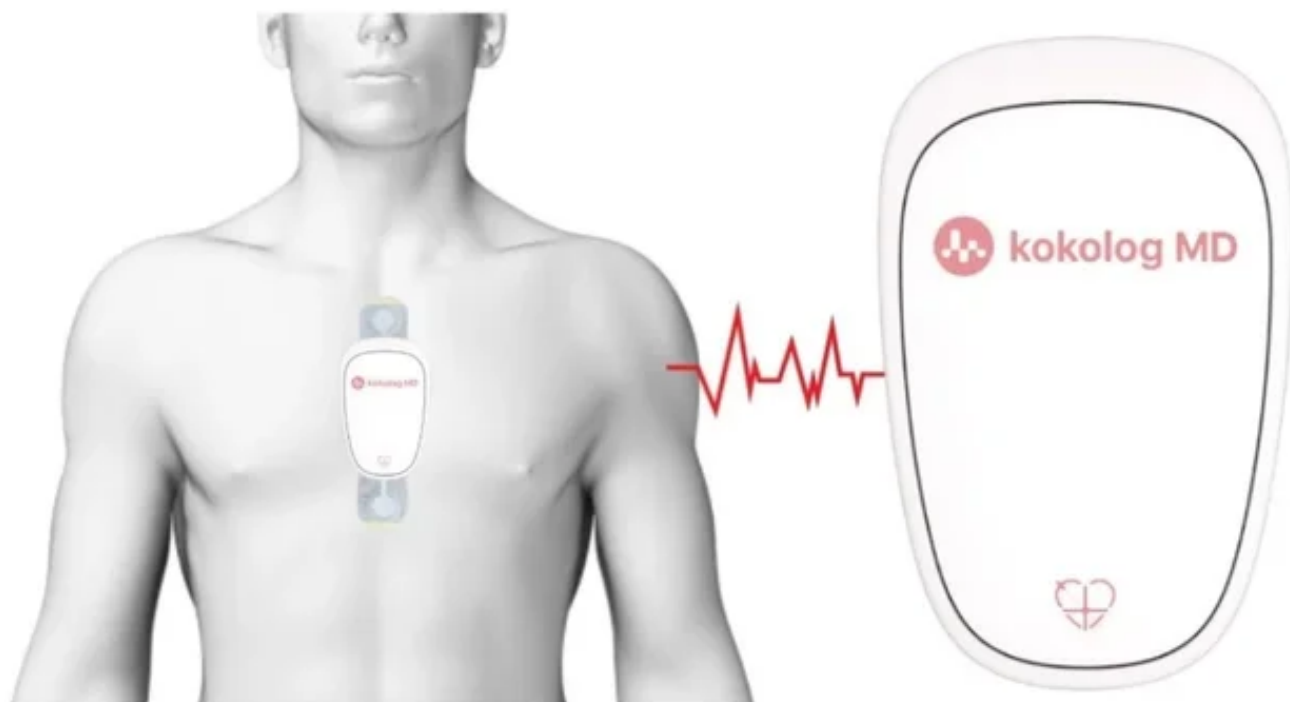
検証内容は、

在宅9時間以上の心電図を記録→**臨床検査技師が解析**→必要時**オンライン医療相談**→受診の導線を検証

メディア取材・報道

各テレビ局にてニュース取材・放送を実施（地域ニュースで紹介）

新聞・オンライン：山梨日日新聞（さんにちEye）にて、貼付型デバイスでの9時間以上の計測／検査技師による解析／オンライン受診導線／アプリでの心電図・脈拍の確認等を紹介されました（2026年1月21日公開）



今後の予定（例）

1月下旬～2月：甲府信用金庫での受検開始、オンライン医療相談の運用テスト

2月中旬：アンケート（受検体験・受診意向・継続意向・生活行動の変化等）

3月：中間レポート（参加率／受診導線／運用課題）を県・関係先へ共有

※スケジュールは変更となる可能性があります。

■ プロジェクト採択の背景



山梨県では、介護認定者の有病率で心臓病が第1位となっており、循環器疾患は要介護状態に直結する深刻な課題です。

一方で、同県は男性で全国3位、女性で4位と健康寿命が高い地域でもあり、住民の健康意識の高さが特徴です。

こうした地域特性のもと、ココロミルの「ホーム心臓ドック®」を導入することで、従来の短時間検査では発見しにくい不整脈や睡眠時無呼吸症候群、ストレスの兆候を早期に発見し、突然死や寝たきりを未然に防ぐことを目的とします。

※サポート事業の詳細については以下をご覧ください。

第9期TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業

https://www.pref.yamanashi.jp/try_yamanashi/support/news9.html

■株式会社ココロミルのサービスと技術

世界初！

**自宅でする
不整脈リスク検査**

利用満足度 **94%** 以上！
利用者のうち **92%** が推奨！

大学病院でも利用される心電計で、高精度な検査を。

**10種類もの不整脈を
網羅的に調べることができます。**

ホーム心臓ドックで確認できる不整脈

- | | |
|----------|-----------|
| ① 期外収縮 | ② 発作性上室頻拍 |
| ③ 心房粗動 | ④ 心房細動 |
| ⑤ 心室頻拍 | ⑥ 心室細動 |
| ⑦ 洞停止 | ⑧ 脚ブロック |
| ⑨ 房室ブロック | ⑩ 補充調律 |

心臓病検査は、心電図は30秒を測定するヘルスケアデバイスです。特定の疾患の診断や治療に寄与するものではありません。

①世界初のソリューション・長時間心電図検査

在宅でするウェアラブル心電計を用いた長時間心電図検査を提供

従来の30秒検査に対し、9～24時間の計測で日常生活中心電図を可視化、不整脈をはじめ、睡眠時無呼吸症候群（SAS）などの睡眠の質、ストレスの兆候も検出

②新モデル搭載

今回の実証で利用する新モデルでは、6軸センサーにより体の動きや呼吸を多角的にモニタリングし、「睡眠時無呼吸症候群」を含めた「睡眠の質」の検出精度を飛躍的に向上させる

③UI/UXの追求

誰でも簡単に利用できる設計（最高齢利用者93歳）

④検査から医療機関受診までワンストップ

検査から診断、地域医療機関への受診までを一気通貫でサポート

こうした独自の価値提案で具体的な行動変容の促進を狙う

（行動変容率：8割/過去の弊社アンケートによる）



■ 代表取締役CEO 林大貴 コメント



「母親を突然死で亡くした経験から、“病気で後悔する人を減らす”ことを使命に事業を続けてきました。日常のまま測れて、必要なときに医療へつながる。このあたり前を山梨発でつくっていきます。既に実施した企業とこれからの企業が同じ場で語り、地域の報道機関にも取り上げていただけたことが、現場での推進力になっています。実装の知見を積み上げ、山梨から全国へ広げます。」

関連リンク：

ホーム心臓ドック®について：

<https://homeheart.health/products/homeheart-pro01>



株式会社ココロミル

ー「病気で後悔しない社会へ」をミッションに世界から突然死をなくすー

私たちは、自宅にしながら医療機関と同等の本格的な心電図チェックが手軽にできる「ホ

ーム心臓ドック®」をはじめとする各種事業を展開しています。

長時間のデータ取得により、これまでの健診や人間ドックでは見逃されがちだった心疾患リスクも早期に“見える化”し、突然死などで「今まで救えなかった世界で1億人の命を救う」ことを実現します。

また、取得したデータを通じて、多くの方々が自分自身や家族の健康状態を可視化し、健康寿命やQOL（クオリティ・オブ・ライフ）を向上させることを目指しています。

代表取締役社長：林 大貴

所在地：〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目2番16号 菅野ビル2F


設立：2021年11月

事業内容：ヘルスケア及び臨床研究事業

提供サービス：〈個人向け〉不整脈、睡眠時無呼吸症候群 (SAS)、睡眠の質、
ストレスの兆候を心電計を使って可視化する「ホーム心臓ドック®」
〈医療機関向け〉使い切りホルター心電計「eclat」
〈医療機関向け〉動物医療心電図モニタリング、ホルター検査

主要許認可：第二種医療機器製造販売業（許可番号：13B2X10584）
医療機器製造業（登録番号：13BZ201797）
高度管理医療機器販売業・貸与業（許可番号：5新保衛薬第162号）
ISO13485：クラス2

HP：<https://kokoromil.com/>

 [d98284-107-747383877487bd8a9bfa4a5ff6a9af4f.pdf](#)

株式会社ココロミルのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/98284